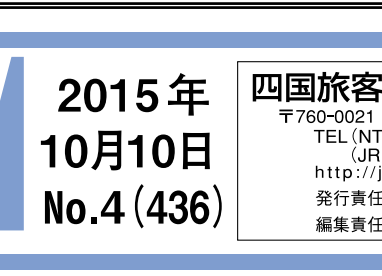

JR四国労組新聞
JRSU

2015年
10月10日
No.4（436）

四国旅客鉄道労働組合
〒760-0021 高松市西の丸町11-9
TEL（NTT）087-851-1378
（JR）086-2597~2598
http://jrsu.jrsis.com/
発行責任者／中濱　斉
編集責任者／幸　大

総合労働協約改訂交渉　妥結！

【JR四国】

◎育児短時間勤務を適用した場合の昇給欠格条項の削除！

◎準組合員の超勤手当の割増率改善！
（エキスパート社員・契約社員）

◎やむを得ず単身赴任となった準組合員の負担軽減！
（エキスパート社員）

【ジェイアール四国バス】

◎60歳到達時の再雇用者に対する待遇改善！

◎再雇用者の最低保障額の引き上げ及び時間給の改善！

【JR四国】

総合労働協約改訂交渉は、９月１日の第１回目及び９月10日の第２回目交渉に続き、９月25日に３回目の交渉を行った。

今回申し入れた要求項目のうち会社側より、『育児短時間勤務を適用した場合の昇給欠格条項の削除』『エキスパート社員の割増賃金におけるＢ単価の改善』『契約社員の割増賃金におけるＢ単価の改善』『やむを得ず単身赴任の状態となったエキスパート社員に対する借り上げ寮の費用負担軽減』の４項目について回答を引き出すことができた。また、「祝日法改正に伴う勤務制度等の一部改正について」及び「列車乗務員として雇用する契約社員の社員採用時の初任給等について」の回答・説明もあった。

組合は、「育児短時間勤務を適用した場合の昇給欠格条項の削除」は、子育て支援の観点からも一歩前進と考えるが、組合は、あくまで育児休職取得時における昇給の取り扱い及び、短期の育児休職（１ヵ月から３ヵ月程度）を取得した場合の昇給の取り扱いについて改善が必要であると認識しており、更なる検討を要望した。

また、「準組合員の割増率改善」は、不公平感の是正とモチベーションの維持が図られることから組合が要求していたものであり、このことが反映されたと認識している。

さらに、「やむを得ず単身赴任の状態となったエキスパート社員に対する借り上げ寮の費用軽減措置」についても、組合の要求が反映されたものと考えるが、基本的には単身赴任の状態とならないよう配慮すべきであると訴えた。

なお、年間休日の増加は従来より求めてきたが、来年は祝日法の改正に伴い祝日が１日増加する。よって、改正に合わせ休日を増加させるよう要求した。

その他の要求項目である３人目以降の子の扶養手当の是正や各種手当の新設及び増額、定期健康診断受診時の取り扱い、エキスパート社員及び契約社員の賃金引き上げ等、積み残した課題は山積している。次年度に向けて前向きな検討を要請する。と強く訴え、持ち帰り検討した結果、これ以上の前進は困難と判断し、13時に妥結した。（交渉の経緯等詳細はJR四国労組ニュースを参照）

【ジェイアール四国バス】

８月27日の１回目に引き続き９月17日に２回目の交渉を行った。これまでの交渉で組合側の主張を強く訴えながら折衝を積み重ねてきた結果、『60歳到達時の再雇用者に対する待遇改善』『再雇用者の最低保障額の引き上げ及び時間給の改善』について会社側より、組合の要求に沿った回答を引き出すことができた。

交渉の中で組合は、組合員は会社を取り巻く環境の厳しさを認識しつつ、労働条件の向上を強く望みながら日夜、安全・安定・安心輸送に全力で取り組んでいることを訴える中、今回の交渉において「会社都合により、やむを得ず単身赴任の状態となった準組合員（定年退職再雇用契約社員）に対する諸制度の改善」及び「準組合員（定年退職再雇用契約社員）の賃金引き上げについて」は、我々が強く要求していた内容が反映された回答を引き出せた。しかしながら、その他の要求項目である労働時間短縮や各種手当ての新設及び増額、契約社員の忌引き休暇の日数拡大等については改善できていない。特に、年齢給や職能給の見直しなど、賃金関係の改善は要望が強く、次年度に向け前向きな検討を要請する。と強く訴え、持ち帰り交渉委員で議論した結果、これ以上の前進は困難と判断し、同日妥結した。（交渉の経緯等詳細はJR四国労組自動車支部ニュースを参照）

第３回本部執行委員会開催

「第３回本部執行委員会」は、９月11日（金）13時より本部１階会議室で開催された。

経過報告と議事については次のとおり。

【経過報告】
（組織）
・組織の強化拡大
（団交）
・平成27年度「総合労働協約改訂等」について（JR四国・ジェイアール四国バス）
（業務）
・「牟岐線における「運転支障」（待避遅れ事故）」について
・四国運輸局監査に伴う行政処分について
（支部大会）
・高知、愛媛、本社、香川、徳島
（情宣）
・教育・広報委員会
（レク）
・サークル協議会運営委員会
（JR連合）
・組織戦略会議
・教育・広報担当者会議
・国会議員懇談会
・グループ労組連絡会定期総会
・安全対策会議
・男女平等参画推進委員会
・青年・女性委員会定期総会

【議事】
①平成27年度「総合労働協約改訂」の交渉経過及び妥結承認について
②平成27年度「契約社員賃金引上げ」の了承承認について
③平成27年度「年末手当」要求の基本的な考え方について
④職場諸問題の集約について
⑤２０１５年度ITF国際鉄道労働者統一行動日チラシ配布について
⑥JR連合第９回安全シンポジウムの開催について
⑦第25回ゴルフ大会の開催について
⑧第４回ドッジボール大会の開催について
⑨当面するスケジュールについて
⑩その他
・分会大会の開催日程について
・次期（第４回）執行委員会の開催について
・その他

JR四国労組第３回執行委員会

全支部にて大会終了！

香川支部

JR四国労組香川支部 第29回 定期大会
スローガン
職場で　地域で　夢を語ろう！
～次代への挑戦！～
JR四国労組
四国旅客鉄道労働組合
香川支部
議長

香川支部第29回定期大会は、９月５日（土）「ホテルサンルート瀬戸大橋」において、代議員、特別代議員、傍聴者、来賓の出席のもと盛大に開催された。

大会は13時から、石野副執行委員長の開会挨拶で始まり、資格審査委員長による大会成立宣言の後、議長に高松車掌区分会の後藤代議員が選出された。

石川委員長は冒頭の挨拶で、安全・安定輸送の確立、運輸収入の確保、政策課題解決に向けた取り組み、組織の強化拡大の取り組み、労働環境の維持・改善等について考え方を延べるとともに今大会をもって退任することを表明した。その後、来賓から挨拶を受け、議事に入った。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査報告が行われ、平成27年度活動方針案と予算案が提起され、質疑に入った。

代議員からは、安全安定輸送の取り組み、労働環境問題、組織問題、政治共闘、男女平等参画の取り組み等について質問や意見があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持って、議事が採択され、最後に石野新委員長の団結ガンバローで終了した。

なお、役員改選に伴い新役員が選出された。新三役は次のとおり。

執行委員長　石野　達也
副執行委員長　谷川　博信
　　　　　　　若宮　正明
　　　　　　　下野　桂馬
書記長　中野　圭司
書記次長　藤原　裕

徳島支部

JR四国労組徳島支部 第29回定期大会
スローガン
職場で　地域で　夢を語ろう
～次代への挑戦！～
JR四国労組
四国旅客鉄道労働組合
徳島

徳島支部第29回定期大会は、９月７日（月）「ホテルクレメント徳島」におい

て、代議員、特別代議員、傍聴者、来賓の出席のもと盛大に開催された。

大会は14時から、米多副執行委員長の開会挨拶で始まり、資格審査委員長による大会成立宣言の後、議長に徳島管理駅分会の岩水代議員が選出された。

浦川委員長は冒頭の挨拶で、安全・安定輸送の確立、運輸収入の確保、組織の強化・拡大の取り組み、労働環境の維持・改善の取り組み、政治共闘の取り組み等について考えを述べるとともに、今大会をもって退任することを表明した。その後、来賓から挨拶を受け、議事に入った。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査報告が行われ、平成27年度活動方針案と予算案が提起され質疑に入った。

代議員からは、職場での安全問題、労働環境改善の取り組み、男女平等参画の取り組み等について質問や意見があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持って議事が採択され、最後に井内新委員長の団結ガンバローで終了した。

なお、役員改選に伴い新役員が選出された。新三役は次のとおり。

執行委員長　井内　貴志
副執行委員長　元木　義明
　　　　　　　石口　浩二
　　　　　　　山中　昌裕
書記長　西口　智也

自動車支部

自動車支部第32回定期大会は、9月15日（火）「ホテルサンルート瀬戸大橋」において、代議員、特別代議員、来賓の出席のもと盛大に開催された。

大会は、13時から、西村副執行委員長の開会挨拶で始まり、資格審査委員長による大会成立宣言の後、議長に徳島自動車分会の松本代議員が選出された。

上田委員長は冒頭の挨拶で、安全・安心輸送の確立、運輸収入の確保、組織の充実・強化の取り組み、労働環境改善の取り組み等について考えを述べた後、来賓の挨拶を受けた。

議事では、執行部より一般経過報告、会計報告、会計監査報告、平成27年度活動方針案、予算案が提起され質疑に入った。

質疑では、安全・安心輸送の確立、運輸収入の確保、賃金関係、労働環境改善の取り組み等について、質問や意見があり、執行部の答弁の後、全体の拍手を持って議事が採択され、最後に上田委員長の団結ガンバローで終了した。

JR四国労組自動車支部

なお、役員改選に伴い新役員が選出された。新三役は次のとおり。

執行委員長　上田　耕成
副執行委員長　西村　公夫
書記長　竹崎　教幸
書記次長　岡　誉人

平成27年度部会三役会議を開催！

平成27年度部会三役会議は、9月10日（木）15時半より本部1階会議室において開催された。

議事では、取り組みの経過を確認した後、部会活動の充実・強化に向けた取り組み並びに今年度の取り組みについて議論が行われ、部会自らが自主性を持った機関運営を更に強化するとともに、安全最優先の職場風土を構築することを確認した。

また、職場における専門的課題を働く側の意見として、具体論で問題提起し、経営協議会等を通じて会社施策に反映させていくことを確認した。

ＪＲ連合ボランティア活動に参加

ＪＲ連合は、山梨県早川町において、地域活性化ボランティア活動を行っており、今回で8年目となりました。

今回の活動には、ＪＲ連合役職員、イーストユニオン、ＪＲ東海ユニオン、ＪＲ西労組、ＪＲ九州労組、貨物鉄産労各組合員と共に、ＪＲ四国労組から幸執行委員、本部青年女性会議の橋本常任委員が参加し、藪の草刈りや花畑の開墾、獣害対策用の電気柵周辺の整備などを行いました。

9月12日は天候にも恵まれ、地元住民の方々といっしょに藪の草刈りや花畑の開墾などを行いました。翌13日は、心配された天候も好天に恵まれ、獣害対策用の電気柵周辺の草刈り、藪の草刈り、用水路の清掃など各班に分かれて作業を行いました。

作業終了後には、地区の皆さんと交流会を開催し、地区の女性の皆様に作っていただいた手作り弁当に舌鼓を打ちながら、和気藹々と談笑し、無事2日間のボランティア活動を終えることができました。

レク・サークルだより

香川支部

分会サマーキャンプを開催！

私たち多度津運転区分会では、8月5・6日の2日間、徳島県三好郡東みよし町の川と緑に囲まれた「美濃田の淵」に於いて、分会団結サマーキャンプを開催しました。

当日は快晴となり、清流吉野川を眺められる「美濃田の淵」の絶景をバックに、昨年台風で中止になった分まで楽しもうと、熱い熱気の中スタートしました。

大自然の中、バーベキューや組合員が作った美味しい手料理に舌鼓を打ちながら、冷えたビールを堪能したり、温泉にゆっくり浸かったりと、参加者全員で楽しいキャンプを過ごしました。日が落ちてもまだ熱気は冷め遣らず、語り合いが夜遅くまで続けられ、さらに相互理解を深め合いました。

今後も有意義なサークル活動を計画し、組合員の親睦と組織強化に努めます。

多度津運転区分会
二川　淳輝

愛媛支部

夏季レクを開催！

私たち松山運転所分会では8月28日から29日に松山市の野外活動センターでキャンプを行いました。

勤務の都合等で難しい中、総勢50名の方に参加いただきました。

JR四国労組
愛媛支部
松山運転所分会

今年も例年通りバーベキューとカレー、翌日の朝食の買い出しから始まり、調理の準備と多くの方に協力していただきました。ここ2〜3年米と水の分量が上手くいかず残念な結果続きでしたが、今年は正確に計量し美味しくご飯も炊く事が出来ました。

美味しいご飯にお酒、普段とは違う自然に囲まれた環境も相まって年齢や世代を超えみんなで大いに盛り上がり楽しく、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

今後もこのようなレクレーションを積極的に開催し、組合員が一丸となり元気で明るい職場作りに努めていきたいと思います。

松山運転所分会
山本　剛

ユニオンスクール開催！

入社5年以内の組合員を対象にしたユニオンスクール「フレッシュマンコース」は、10月2日から3日の2日間、詫間町粟島にある海員学校跡「ル・ポール粟島」で開催され、四国各地から集まった受講生23名に加え、本部青年女性会議の役員及び本部役員併せて総勢32名で開催されました。

スクールは、青年女性会議役員によるオリエンテーションから始まり、その後「労働組合の基本認識・ＪＲ四国労組の取り組み」「組合と共済活動の関わり」「組合と労働金庫の関わり」「ＪＲ四国労組の歴史」「安全確立に向けた取り組み」及び「政策活動も含めた政治との関わり」等について、本部の中濱委員長、眞鍋書記長、浦川政治部長、幸教育部長から講義を受け、労働組合の基礎知識を学習しレベルアップを図りました。

夕食交流会では、バーベキューを囲みながら、仕事の事からプライベートな事柄について熱い議論を交わし、日頃交流の少ない様々な職場の組合員と親睦を図りました。

2日目早朝には、粟島最高峰である城ノ山への登山を実施し、山頂からの眺めを楽しんだ後、カリキュラム最後の「ふりかえりスクール」において、2日間の感想を参加者全員がそれぞれ発言し、今スクールの成果を確認しました。

JR四国労組
四国旅客鉄道労働組合